

## 当院における在宅血液透析の導入について

品川ガーデンクリニック<sup>1</sup> 北里大学医学部泌尿器科<sup>1</sup>

○川畑 勝 (カハタ マサル)<sup>1</sup> 若井陽希<sup>1,2</sup> 板垣真由美<sup>1</sup> 菊川智恵<sup>1</sup> 柴田裕美<sup>1</sup> 吉田一成

<sup>1,2</sup>

当院は、在宅血液透析(home hemo dialysis: HHD)導入施設として2010年5月に開院し、11月現在までに3名の患者にHHDを導入、4名の患者に訓練を行っている。当院の主なHHD導入基準としては、「自己穿刺ができること」「家族の理解があり同意が得られること」「心臓病疾患等の合併症がないこと」等とする。HHD訓練教材は、紙資料、DVD資料、血管モデル等を使用する。訓練期間は1ヶ月半から3ヶ月程度とし、HHD訓練時には身体的、手技、機器操作等のトラブルに対して患者が状況判断を行い、自己決定できるように訓練を行う。

HHD開始後の維持管理としては、スタッフ、医師の24時間のオンコール体制を取り、機器の保守点検は3カ月おきに、スタッフ又は、業者が訪問し実施する。必要物品の物流管理は、メーカーや物流業者等の協力を得て配送し、医療廃棄物は、クリニックでの回収とする。

HHDの実施においては、訓練時に患者の状況判断や自己決定能力を向上させる訓練が必要となる。また、HHDを維持管理する為には、物流管理等の様々な問題について軽減に努める必要がある。